

市街地再生を重点にした街づくりを

■水戸メガモール計画についで

【玉造】(一)市長が土地利用審議会に出した意見書案には「業者の信用性あり」となっているが、不動産登記簿によれば平成十二年五月に業者の土地を水戸市が税金滞納で差し押さえしている。同じように国にも県にも税金滞納して差し押さえられているような業者を「信用がある」とは、どんな調査をし、何を根拠に結論を出したのか。今回の市の意見書案は白紙に戻すべきである。

(二)水戸市商店会連合会からは議会に反対請願が出されているにもかかわらず、なぜ商工会議所の意見だけを商業者の意見として取り上げたのか。また、メガモール計画は

単に大型店の立地ということにとどまらず、笠原の県庁周辺に新しい都市核ができるということである。このような街づくりの問題こそ市民の意見を聞くべきではないか。

【市長公室長】(一)事業者のこれまでの実績や、双日(株)が事業の協力をを行うことを確認したことなどから、信用等は「ある」と判断した。尚、事業者の努力及び信用に係わる可能性のある新たな情報が寄せられたため、事実関係について可能な限り調査検討していきたい。

(二)商工会議所や商店会の意見、特別委員会の動向を踏まえるとともに、この立地による影響、効果を総合的に勘案し、立地はやむを得ないとの考

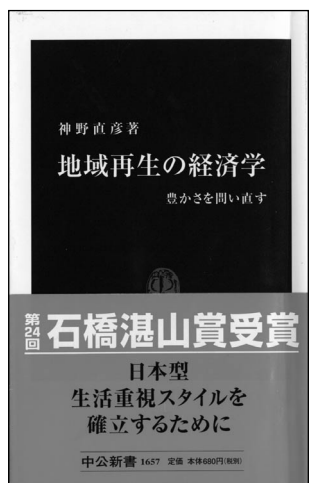


郊外の開発により
渋滞がひどくなる
R51 米沢陸橋付近。

えから、土地利用審議会への諮問を行った。

その他、「使用料等受益者負担の方針について」、「水防行政について」、「下水道の公共下水道について」を質問し、答弁を受けました。詳しくは事務所までお問い合わせください。

おススメの一冊



神野直彦『地域再生の経済学』

中公新書、二〇〇二年

いま、全国で中心市街地の活性化が大きな課題になっています。水戸市もこの例外ではなく、郊外へ郊外へと開発を進めてきたこれまでの都市計画のありかたが、いま問われています。また、その街に暮らしている市民生活は、弱肉強食、損得ばかりが強調される競争にさらされる中で、地域や家族の結びつきが薄くなり、人の心まで荒れるような

社会になりつつあります。この本はそのような現代日本の病理を念頭に置きながら、「人」を大切に作る地域社会をつくるための提言が数多く紹介されています。財政学の第一人者である筆者の視点で、地方財政や行政の役割についても明快に説明されていますので、「今の社会はおかしい」と思われている方にぜひ一読をお薦めします。

2004年12月議会報告

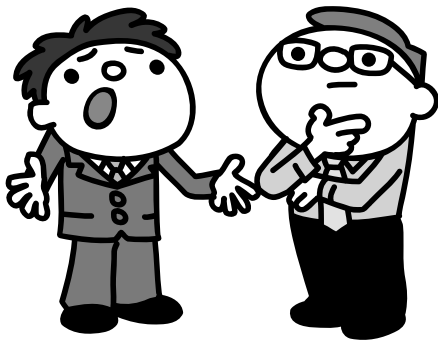


2004年12月2日から16日まで第4回定例議会が行われました。玉造順一の一般質問の概要をご報告いたします。

地域の中の学校づくりをめぐって

■教育行政について

【玉造】(一)来年度から学校運営協議会制度がスタートする。教育委員会は学校運営協議会を導入する学校について、何を基準に選定するのか。また、始まって4年しか経たない学校評議員制度との関係をどうするのか。さらに、学校現場や子どもたちの参加が必要と考えるが、見解を求める。



(二)教育委員会はいつ開かれ、何が話し合われているのか等、全く市民に知らされていない。積極的に情報公開をするべきではないか。また、教育委員会は今後どうあるべきかについて、教育長はどう考えるか。

【教育長】(一)本市では幼稚園と小中学校に学校評議員制度を導入し、教育活動の充実に生かしている。地域社会に開かれた学校づくりを推進するため、この評議員制度を一層充実させていく。学校運営協議会については、今後慎重に検討していきたい。

(二)現在、今年度中に教育委員会のホームページを開設するための作業を行っているが、これによ

り積極的に情報公開を進めていきたい。教育委員会制度については、教育の中立性、安定性、継続性を確保してきている上で大きな意義があり、これを踏まえて常に市民との連携を図りながら、水戸の教育を創造してまいりたい。

用語解説

「学校運営協議会」
学校運営の基本方針の承認や先生の任用に対して教育委員会に意見を述べる権限を持ち、学校評議員制度より踏み込んだ内容を持つ合議機関。二〇〇五年四月から本格実施され、教育委員会が指定した学校に導入される制度。